

発行所
医療法人財団五省会西能病院
〒930 富山市五福1130
TEL (0764) 41-2481(代)
発行人 西能 正一郎

五省会ニュース

五省

- 一 至誠は情なきがしかりか
- 一 言行は恥ぢなきがしかりか
- 一 氣力に疲るなきがしかりか
- 一 努力に憾なきがしかりか
- 一 不精に宜なきがしかりか

「勤労感謝」の訪問 かたかご保育園が西能病院へ



「こきりこ」の名演奏?と大合唱に職員たちは、「かわいいわね」と、うっとり。

「しごとにながらばってね」 「こきりこ」の熱演に大喝采

かたかご保育園(富山市五福九区)の年長組(四才五才)七十人、主任保育母、高木克子さんに引率されて、十一月二十日午後一時、「勤労感謝」の慰勞に西能病院を訪れた。

まず、園児たちを代表して松橋慎一郎ちゃん(五才)が「ありがたう。これからも、お仕事にがんばってね」とあいさつ。ついで、ちりょういんへいづつ、五才児二人が「このあいだ、うみに



「ニコニコバッジ」をつけてもらって緊張気味。



「おじいちゃん、おはなしたちね」と、お話を聞かされた。

おついで、うみにあつていきました。あり(吉村明)「こんどは、合唱と楽器演奏を二曲、「かえるの合唱」と、「こきりこ」だ。ササヤや踊り手たちも登場しての熱演に、「かわいいわ」とやんやの大喝采。みんなで作ったプレゼントとして五年長児、斉藤みゆきちゃんと松岡れい子ちゃんが「ウオールポケット」を、四年中児

「ずつとまえ、うさぎのえさをきつていたら、おねえちゃんが出てきて、ゆびをきりました。そして、すぐにさいのうびよういんへいきました」(宇井晴雄)病室に入り、「早くよくなつてね」と、花束を贈呈した。患者さんたちは突然の小さい訪問者を笑顔で迎えた。両手を合わせて拝んでいるおばあちゃん、おじいちゃん、おはなしたちね、お話を聞かされた。

神の思し召し

西能 正一郎

いつも、宴会は大勢のことが多いのだが、その晩は珍らしく二人でその料理屋の門をくぐった。気の置けない相手なので、御馳走より話に花が咲く。次から次と話題が出て、時間の経つのも忘れていた。

幼児が命を取り止めた24年前の御礼

人と人との絆に襟を正す

その晩は端から中年の中居さんが付きつきり世話をしてくれていたが、どうもすることがギクシヤクしている。盃が空いて、二本とも空になってあわてて酒を取りに行ったり、氣の利かない中居さんも居るものなど頭の間をよぎったが、振り払って話の方に力を入れた。

ただで、何の記憶もよみがえってほこなかった。女将の助けを借りて話をまとめる。37年8月30日、彼女の夫が生後十カ月の長男を自転車に乗せて、街へ電車を乗せに出かけた。どうしたはずみか、自転車が倒れて、八百屋の店先に出た。た木箱の角でその子の頭を打った。家に帰って寝かせてみたが、嘔吐が続いておさまらない。そこで相談して、私の診療所に連れてきた。「すぐ入院しろ」と言われて「頭が悪くならないでしようか」と質問

外傷の幼児を抱え込んだ私は、頭を冷やすことと、しばしば診察にゆくことしか出来なかった。時の医療の貧困をまざまざと思ひ出せる。非常に幸運な事に、その子は神の思し召しの下に一命を取り止めてくれた。若しそうでなかったらどうなっていたのであろうか。このような偶然に近い事の積み重ねが、人と人との絆を作ってくれていることに襟を正さずにはおられない。

あすなろ

先日、除雪機具を作っている小工場主の友人に会ったら、ここ十数年間の富山県の細かい気象データを集めて雪予想を研究していた。無論、雪の多少が生産販売量を大きく左右するからだ。富山県内の雪は最近では五六豪雪(富山市の最深雪一六〇cm)のあと、五七年、五八年は少なかつたが五九年(二二二cm)六〇年(二三八cm)六一年(二一七cm)と三年連続の大豪雪。気象台は今冬も大雪で四年連続一〇〇cmを越えんと予測している。しかし、友人はこんな予報は少しも当てにしない。雪予想をきいたら大事をポイントを二つあげた。

医療福祉制度の手びき

今回は、今までの欄で何度かとりあげた制度のなかで、皆様からの質問の多かった制度について、繰り返し説明してみたいと思います。入院なさつたら、これだけは知っておいていただきたいと思う制度ばかりです。

五万四千元をこえた額が戻る

- ① 高額療養制度(健保、国保、共済等)
同一月に同一の医療機関に支払った自己負担額が、五四、〇〇〇円(市町村民税非課税者は三〇、〇〇〇円)をこえた時、それぞれ社会保険事務所、市町村などに、高額療養費支給申請書を提出すると、そのこえた額が戻ってきます。
- ② コルセットなどの補装具の費用の払い戻し(健保、国保、共済等)
コルセットなどの補装具を作られた場合、最初はその費用の全額を支払っていただきますが、あとで療養費支給申請書を、社会保険事務所、市町村に提出することにより、後日、それぞれの加入保険の負担割合に応じて、費用が戻ってきます。
- ③ 休業で給料が止まった時
傷病手当金(健保など)
病氣やけがの療養のため仕事につくことができない場合、給料の支払いを受けることができます。休業四日目から一年六カ月間、休業一日につき標準報酬日額の六〇%の額(被扶養者のいない人が入院された場合は、標準報酬日額の四〇%)の支給を受けることができます。一年以上被保険者(勤務)期間がある人が退職された場合は、退職後もひきつづいて支給を受けることができます。

以上、それぞれの制度の概要を説明致しましたが、自分などの制度に該当するかなど詳しい事につきましては、社会保険事務所、市町村、病院の医療相談室などで、おたずね下さい。

(医療ソーシャルワーカー 高村美和子)

一つは今秋は寒さが早くきたこと。最低気温が初めて五度以下になる日は県内では十一月初旬が通例。(昨年も一昨年も十一月三日)それが今年は十月二十日に三・七度を記録した。しかもそれ以後も冷え込みが厳しく、県民の冬支度は例年より半月以上早い。もう一つのポイントは記録的な秋の渇水。全国的現象だがとくに中部地区がひどい。「これは四年ぶりの世界的エルニーニョ現象(東太平洋の海水温の異常上昇)も影響があるらしいが」といふ。どうも友人の話はこのところの大雪山の年と違っている特異現象ばかりをあげている。そこで「雪は少ないとみるのか」とスバリ本論に入つたら友人はとたんに声をひそめて「企業秘密」と笑つてごまかした。

健康法の問題

矢野 三郎

健康のために運動をする人が増えている。今や、日本人の二五%以上の人が何らかの運動をしてお...

一日、一万歩(三百)の身体活動が必要

でも、運動には問題点や限界がある



宮崎 正(五二) 富山市南海寺六八七

「水泳をしてれば癌にもならない」と思っていたのに、癌は肺に発生した。健康法として運動が重視されていることには問題がある...



三原八重子 看護部

霧囲気に圧倒された朝礼 職場で生かしていききたい



実習をうける窪田奈穂子さん(まん中)

霧囲気に圧倒された朝礼 職場で生かしていききたい 実習初日の朝、八時半からの朝礼に参加しました...

友だちになりたい

金明照

私の現在の研修は、手しみにテレビがあります。術の助手、病室回診(吉岡先生と)、外来診察室での記録が主体です...



吉岡先生と病室を回診する金先生(左)

チャンバラが大好き テレビ 大相撲は男らしい 男らしい大相撲(テレビ)も面白い。必ずみています...

ねんりん

西能病院のあゆみ

私のカメラで 富山保健所がやってくれた。富山保健所がやってくれた。富山保健所がやってくれた...

わたしはこう思う

(37)

はじめに

山根が教育界となった原動力は、子沢山にあって、ユニークな見解を展開しながら、最近の出産率の低迷に警鐘を鳴らす...

減少する子供たち

吉崎 かつてハングリーではないんで、それで中絶でしよう。それが一人で二人で、三、四人くらいで、多兄弟でない...

軽薄短小型の哲学

吉崎 それでね、村山さんは私にどういったかというところ、近ごろのアロ野球を見てるとよくケガをするので、弱いなんで、私なんかピッチャーとい...

わたしはこう思う

わたしはこう思う... (37)

病院だより

十月 七日十三人の誕生会を小会議室で、十九、二十日旅行一班、二十四日健康教室、二十六、二十七日旅行二班...

一人でポツンと

吉崎 昭和四十四年に入りました。そうすると、私も、忙しいうことはわかるんですけど、一人部屋で一人ポツンと仕事しているという感じだ...

教育界の原動力“子沢山” 我慢する、鍛える力育つ

命はあと五十年だというんです。理由は、西ドイツの女性に、一人一人が一生懸命に生きていくから、我慢する、鍛える力育つ...

わたしはこう思う

(37)

画期的なセメントレス人工膝置換術

開発の米人医師が西能病院で執刀

両膝変形性関節症で西能病院に入院中の小笠原徳次さん(七三)は、十月二十九日、関節外科の世界的権威者であり、セメントレス人工関節を開発したL・Aホワイ博士(四二)に米国セントルイス病院外科部長の手術指導によって、西能病院手術室で、これまでの骨セメントを使わない、セメントレス人工ひざ関節置換術(左膝)をうけた。経過は良好。ベッドで小笠原さんは、「手術のことは何一つ心配しませんでした。それよりも、有名な米国の先生にやってもらって、運がよかったと思っております。本当に光栄でした」と喜んでる。十一月十二日から松葉杖で歩けるようになり、リハビリテーション部で、足をあげたり、まげたりの運動に一生懸命だ。

骨セメントを使わず

「サンキュー」で心よく手術を受けた小笠原さん

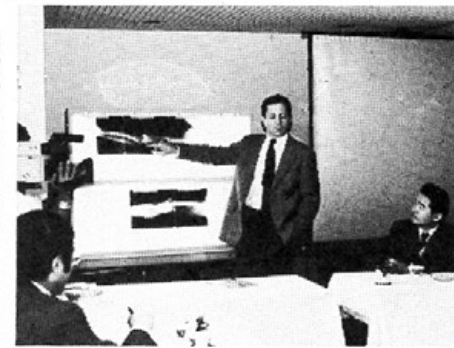
小笠原さんが主治医の西能副院長から「米国の有名な先生の手術をうけてみませんか」と聞かされたのは十月二十八日。西能院長からも「やりがいがあります」といわれた。病室の友人に「それは、おまかせ下さいということだ」と元気づけられ、すっかり安心した。

二十九日朝、ホワイ博士が小笠原さんの病室を訪れ、二人は、がっちり握手した。小笠原さんには博士の英語はぜんぜんわからなかったが、「お願いします。サンキュー、サンキュー」と何度か頭をさげた。手術は、ホワイ博士の指導で、千葉大の守屋秀繁助教授、西能副院長ら三人が助手となつて執刀、一時間余りで無事終わった。富山医業大の山田均講師(整形外科)は、北大、千葉大などの整形外科医十人が熱心に見学した。

小笠原さんは二十年前から両膝が痛くなった。だんだん歩行が困難になり、階段の昇降もできなくなった。とうとうカニのように四つんばいで這い回るようになってしまった。上越市や能生町の医院で診断してもらったが、効果がなかった。



ベッドで喜びを語る小笠原さん



検討会で説明のホワイ博士

(もうダメか。歩けなくなるか)と、望みをなくしていたとき、知人二人から「富山の西能病院でよくない」という話を聞いた。早速、西能病院で診察を受けたところ、西能院長から「大丈夫です。なおりますから入院して下さい」との心強い返事もらった。

今年の八月二十五日に入院、右膝のセメント人工関節置換術を受けた。そして、こんどは左膝のセメントレス人工関節置換術を受けたもの。

「この恩は一生忘れません。小笠原さんは、両足のサポートをさすりながら、つぎのようにつづいた。「おかげさまで、今、痛みもなく、両足もだんだんよくなりました。歩けるようになりました。」

「おかげさまで、今、痛みもなく、両足もだんだんよくなりました。歩けるようになりました。」

セメントレス人工ひざ関節とは

ホワイ博士が数年前に開発したセメントレス人工ひざ関節は、コバルトクロム合金と超高密度ポリエチレンでつくられ、骨との接合部分が多孔性に加工されている。

増殖した骨組織が小孔のすき間に入り込み、骨と人工関節の安定を維持するものである。

手術が正確で短時間

セメントレス人工関節が普及の傾向

副院長兼診療部長 西能 竑



西能 竑氏

日頃の診療において、非常に多くの患者さんが関節の異常を訴えて受診されます。

なかでも、体重のかかる膝や股関節の疾患に悩む方は多く、その治療は、

困難な場合が少なくありません。幸いにしてここ20年来、高度の関節破壊治療に人工関節置換術が開発され、機能再建に偉大な効果を示し、変形性関節症、リウマチ疾患、外傷後関節症等に不可決の手術方法として認められております。

しかし、従来の人工関節手術は、骨セメントを用いる方法が主流であり、

長期間の使用でセメントと骨の間にゆるみを生じ、10年あるいは15年後には、再手術が必要となる報告がみられるようになってきました。

このため、近年、セメントを使用しないセメントレス人工関節が開発され普及する傾向になっております。

今回、アメリカ、セントルイス病院整形外科部長のホワイ博士が富山市で開催された第67回中部日本整形災害科学会の特別講演に出席され、この機会に、当院でその手術指導と研修会を行なわせて頂きました。

ホワイ博士は自ら開発したセメントレス人工膝関節による七〇〇例におよぶ手術経験を有する関節外科の権威であり、アメリカはもちろん、世界中が彼の人工関節に注目を集めております。

この人工膝関節手術は、手術器具にも工夫がされ、短時間で正確な手術がなされる利点があります。全国各地より参加された先生方も、手術後の研修会で活発な討論をされ有意義でありました。

当院でも、今回の経験をもとに、セメントレス人工膝関節を導入し、より多くの方の関節治療に役立ちたいと考えております。

お陰様で、研修会は、有意義に終える事ができました。御高配を賜りました。富山医業大整形外科辻陽雄教授をはじめ関係各位に感謝を申し上げます。

医療法人 西能病院の診療体制

一般受付時間 (日曜・祭日は休診)

●年中無休・24時間受付の診療体制を敷いております。 ●救急車(2台)は、要請により出動致します。

診療科目	曜日	午前	午後
整形外科	月～土	8:30～12:00	16:00～19:00
リハビリテーション科	月～土	8:30～12:00	13:30～19:00
内科	月～土	8:30～12:00	15:00～17:00 (但し火曜日は19:00まで、金曜日午後は休診)
泌尿器科 外来	毎月第2、第4土曜日		13:30～17:00
神経内外科 外来	毎週木曜日		14:00～17:00
形成外科	毎月1回	8:30～12:00	(診察日は受付でおたずねください)

真剣な眼差しで手術指導のホワイ博士(中央)